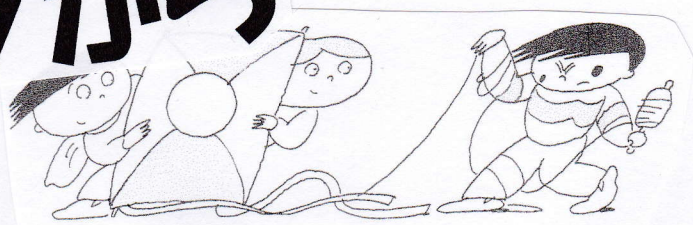
いそかんブログから



タンクヤードの紅葉

今朝は磯津で朝の6:00から磯津通信を宅配していました。磯津が終わって、小倉新田に回り、ふと気が付くと桜の木が先日の強風にもめげず、まだ葉っぱをたくさんつけているのに気が付いて、思わずシャッターを切りました。ここは後景に写っていますが昭和四日市石油の原油基地（高さ23m、直径83m、11万klの巨大タンクが７基）があり、集落とあまりにも近接しているので、堀と桜並木が造られているのです。

こんな火薬庫みたいな危ないものはごめんと集団移転の闘いのあったところです。今まで２回ほど事故がありましたが、それも見て来ただろう桜の木。堀には渡り鳥たちがのんびり泳いでいました。

300をこえるカモたち

今日はコンビナートの煙が真横に流れる風の強い日でした。吉崎の絵のある堤防の前の池は３００を越えるカモたちが休んでいました。スコープをセットして、資料を取りに車にもどった10数秒の間に強風に煽られてスコープは転倒。接眼部分が哀れにひん曲がってしまいました。焦って、力任せに何とか元にもどし、…汗汗。

のぞくとホシハジロが大半でした。冬の昼の光を受け真っ白な横っ腹を輝かせていました。キンクロハジロも混じって見えます。多くは頭を羽の中に入れ強風をよけている感じでした。風が強くてスコープの画像が揺れるのですがそれでも、きれいなカモたちの様子が垣間見れたのです。

「柱状改良」って知ってますか？

四日市市楠町吉崎（絵のある堤防のちょうど前）の雨水幹線の大工事はトンネル掘削工事も順調なようですが、奥の方に本体建屋のための「柱状改良」という工法の様子が見られます。

「柱状改良」というのは、軟弱地盤（確かに楠のこの海岸近くは全くの軟弱地盤）のところ大きな建物を建てる場合にはよく採用される工法で大型重機を入れて先端からセメントミルクを注入しながら、固い地盤まで到達させ、土の中に柱を造ってしまう工法です。

（中略）

六価クロム溶出のテストはされているか今度聞いてみようと思います。個人住宅などにこの工法を採用すると、完成度が見にくい、新しく残土を処分するとき大いなる負担が生じると言います。

廃船哀歌

ブログの写真を撮りながら、しばらくぶりに船が係留してある漁協の反対側に車を止めてシャッターを切っていました。何枚か撮る内にもう少し前の船の舳先からのアングルをと留守の船に勝手に乗せていただきました。その時です。足の踏み場もないほど散乱した船の中、漁具や廃材・ふとん・ロープなどが散らばって、運転席もいっぱい。ああ、この船は漁に出ていないと言うことが入らせていただいてハッとしました。

降りてこの５隻をよく見るとペンキははがれ何か船が泣いているようでした。いつだったかこの港の船の数を数えて歩いた時がありました。確か８４隻だったと思います。でも、そんなに漁に出ていないことは知っていましたが、こんな荒れた状態で係留されているとは思いもしませんでした。威勢よく汽笛を鳴らして出港していった頃を何か語りたがっているようにも見えました。

見たり書き込んでいただくことが勇気になります。

http://isokan.web.fc2.com/